

平成27年度協働事業等に係る第三者評価の実施結果について(詳細)

番号	区分	協働事業等名称	事業実施者		1 評価結論		2 事業について	3 協働の広がり可能性	4 意見交換会を踏まえて	5 まとめ
			(上段：市民、下段：市)	結果	意見					
1	協働事業	水辺の楽校推進事業	府中水辺の楽校運営協議会	A	多様な主体の関わりや他市との連携等、協働事業として評価できる事業である。	ノウハウも確立しており、事業そのものが完成されている。予算規模についても助成金等を活用するなど工夫も見え、妥当である。	課題として、運営協議会の委員の高齢化があげられているが、事業に参加した保護者や学生など、若い世代を巻き込んでいる。事業を通じて協力者を増やし、他市との連携を図るなどの取組も行っており、更なる協働の広がりが期待できる。	事業の反省会等を通じ、双方で課題の共有ができており、課題解決や更なる事業の発展に向けて取組を進めているため、協働事業としても、次の世代に託すにふさわしい事業である。	運営協議会に様々な主体が関わっているため、スムーズな運営ができており、成熟している事業である。また、小学校の総合学習への反映や、他市との連携など、活性化している事業である。	
			環境政策課							
		WaiWaiフェスティバル	WaiWaiフェスティバル実行委員会	C	発想力は市民、調整や事務は職員と役割分担は明確であるが、責任の所在等の整理が不十分であるため、それぞれの特性等を再確認いただくとともに、市民により一層協働の概念を理解いただくことで、基礎が固まり更なる発展が期待できる。また、中間支援組織を活用し、別事業とのタイアップや事業協力者を増やすなど、より一層の事業の発展を図ることで協働の広がりも期待できる。	課題として、一般への広報があるが、次年度に向けて検討を進めているため、課題解決に引き続き取り組んでいただきたい。また、広く一般の方に参加いただき、市民全体の取組となるよう、PR方法等を検討し、継続いただきたい。	市民側は本来の仕事を終えた後に事業の準備を行っているため負担を感じている状況にあったが、市は積極的に取り組んでおり、市民の負担軽減を図るなど連携は進んでいる。しかしながら、市民参加や取組の規模として、より一層の発展を図るには、中間支援組織を一層活用し、事業に関わる人を増やしたり、別な企画とタイアップするなどの取組が必要である。市民全体の取組としていくことで、より良い事業となる可能性がある。	連絡体制の困難さや責任の所在の曖昧さを把握しているため、次年度に向けて細かな打合せを行うことで解決していただきたい。	反省を重ねながら実施している。発想力は市民、調整や事務は職員と役割分担が明確であるが、責任の所在等更なる役割分担の整理を行う必要がある。	
			障害者福祉課							
		府中市民桜まつり	府中市民桜まつり実行委員会	B	特性を生かしながら役割分担をしており、事業としても協働の関わり方としても評価できる事業である。現状に満足せず、組織の活性化や新たな事業展開を図るなど、関係者全員が知恵を出し合い、より良い事業に向けて取り組んでいただくことで、更なる発展が期待できる。	天候に左右される催しであるが、市をあげての最大の事業であり、完成度の高い事業である。	新たな人を実行委員会に加えることで、組織が活性化し、協働の広がりや更なる事業の発展に繋がることが期待できる。	コミュニティ協議会と職員との連携が強く、完成度の高い事業である。完成度が高い事業であるからこそ、大きな変化が難しい。現状に満足せず、委員の入れ替えや事業の見直しを図るなど、更なる発展・改善に向けて振返りを行っていただきたい。	連携力がある事業である。企画・運営は市民、広報は市というような分担でなく、全体の運営から強みを活かして分担をしていくということが評価できる。	
			市民活動支援課							
府中市民芸術文化祭	府中市芸術文化協会	B	事業の目的や課題が共有されており、役割分担も明確で、協働事業として評価できる事業である。今後は若年層の参加者を増やせるよう、内容の幅を広げ、関係機関と連携を図ることで、更なる発展が期待できる。	市内の多様な会場で事業を実施しており、効果的である。今後は事業内容の幅を広げ、子ども向けの内容を追加するなどの工夫をすれば、より良い事業となる可能性がある。	市民と市で十分なコミュニケーションを図るとともに、若い世代の参加者を増やすことができるよう、市内の学校や教育委員会等と連携することで、更なる協働の広がりが期待できる。	事業の実施に当たっては、協働相手や参加者の意見を拾い上げ、十分なコミュニケーションを図りながら実施していきたい。	共通の認識を持ち、明確な役割分担のもとで事業を実施している。関係機関との連携を深めることで、更に効果的な協働事業へと発展することが期待できる。			
	文化振興課									
地域ごみ対策推進事業	地域ごみ対策推進員	B	協働でなければ実施できない事業であり、また、協働相手の人数が多い中、より良い関係性を構築できるような工夫をしながらコミュニケーションを取っていることは、協働事業として評価できる事業である。意識の差へのアプローチ方法や継続のための工夫を引き続き検討いただき、取り組んでいただくことで、更なる発展が期待できる。	自治会を活用して選出するという方法以外で推進員を選出することは難しく、当該事業は協働でなければ実施できない事業である。市民からどのような声があり、どのような効果があったかを把握し、計画的に取り組むことで、更に良い事業となることを期待できる。	圏域ごとの意識の差がある中で工夫してコミュニケーションを図っていることが評価できる。事業としては非常に規模が大きく、協働の広がりの可能性がある。	意識の差を解消するため、全推進員を対象とした研修会の開催を検討していることから、市が最大限努力していると評価できる。今後は若い世代の参加者を増やし、継続して取り組んでいけるよう工夫いただきたい。また、ごみ減量や処理技術等も絡めて、より一層のごみ減量対策の推進を図っていただきたい。	引き続き地域との対話を心掛け、圏域ごとの意識の差の解消や、事業継続のための工夫を検討することで、更に効果的な協働事業となると評価できる。			
	ごみ減量推進課									
農業まつり	府中市農業まつり実行委員会	C	協働事業としては適切であり、課題の共有や事業の改善の努力もあるが、課題解決に至らない状況であるため、農業に関心のある市民を巻き込むなど、新しい考えを取り入れていくことで、事業の発展や協働の広がりが期待できる。課題解決のために、改めて事業内容や役割分担を見直し、丁寧に協議を重ねることで、更なる発展が期待できる。	多様な企画が用意されており、農業の初心者でも参加しやすい事業である。農業の振興という目的を掲げているが、達成できていない状態であることは課題として双方捉えられており、事業内容の見直しなど、考えながら努力している。この協働先でなければ事業が実施できないため、協働事業としてふさわしい事業であるが、課題解決が中々進んでいない状況である。また、市の負担が大きいことから一部改善の余地がある。	農業を広めたい、府中の農業を知りたいという農業に関心のある市民は多いことから、発展していく余地があるため、若い世代を中心に幅広い市民が参加できるよう、ターゲットとしたい市民や参加者の意見を取り入れつつ、事業内容を見直すことで、より良い事業となることを期待できる。十分な協議を重ねることで、相互のノウハウをより一層生かし、前例に囚われない新しい流れを取り入れていく必要がある。	協働相手や参加者の意見を拾い上げ、十分なコミュニケーションを図りながら協働の効果を高めることができるよう、事業の進め方を工夫いただきたい。	若い世代を中心に幅広い市民が参加できるよう、ターゲットとしたい市民や参加者の意見を取り入れつつ、事業内容を見直すことで、より良い事業となることを期待できる。課題解決を図るため、丁寧に協議を重ねていくことで、更なる事業の発展や協働の広がりが期待できる事業である。			
	経済観光課									

番号	区分	協働事業等名称	事業実施者		1 評価結論		2 事業について	3 協働の広がり可能性	4 意見交換会を踏まえて	5 まとめ
			(上段：市民、下段：市)	結果	意見					
7	市民	府中に冒険遊び場を～子どもが遊びこめる環境づくりとそれを支える市民の育成～	NPO法人野外遊び喜び総合研究所 児童青少年課	D	協働への理解を深め、「相手を尊重する」という姿勢が必要である。「相手を尊重し合う関係づくり」のため、事業計画段階から組織や制度等の違いを話し合い、歩み寄りを行う等、協働の目的を考えていただきたい。	普段の遊びの中では体験することのできない「火あそび」や「木のぼり」ができる冒険遊び場を実施し、参加者の満足度も高いことから、効果的な事業であると評価できる。	当該事業を継続して実施していくためには、市との協働は不可欠である。「相手を尊重し合う関係づくり」ができて、初めて協働の広がり生まれることから、十分なコミュニケーションを図り、相互の立場や特性についての理解を深める必要がある。	提案団体及び市担当課の「協働」への理解が必要である。協働で事業を実施するに当たって重要となる「協働の原則」を改めて理解し、より良い関係づくりができるよう、双方検討いただきたい。	協働で事業を実施するに当たっては、「相互理解の原則」が重要となる。対話を通じて十分なコミュニケーションを図り、相互の立場や特性について理解を深めるとともに、信頼関係を築く必要がある。	
8	提案型	命の讃歌コンサート	命の讃歌コンサートの会 政策課	B	事業実施までの期間が短く、市担当課の役割が限定されてしまったものの、若い世代への周知に当たってPR方法を工夫する等、明確な役割分担に基づき事業を実施している。	通常のコンサートとは異なり、障がい者の方々が舞台上で発表を行うという性質上、必要とされる準備や配慮は並大抵のものではない。アンケートの意見や参加者数からも、一定の事業目標は達成されたものと評価できる。	障がいを持った来場者に対する会場での介助ボランティアの募集や、市内関連団体への出演依頼、市主催の人権啓発事業を活用した当該事業のPR等、市担当課の役割をより充実させることで、更なる事業の広がりが期待できる。	事業経費のうち、報償費が大きな割合を占めていることから、市の協力のもと、補助金に頼らない運営を目指すことで、継続性のある事業となることが期待できる。	市担当課の熱意や、互いに尊重し合う姿勢が感じられ、協働による事業の更なる発展が期待できる。	
9	協働	子育て応援イベント「ハッピー子育て～わが子のチカラを信じよう～」	ポルトボヌール 子育て支援課	C	団体としての経験が浅く、事業の企画や会場の設定、集客、市との調整等に課題が残った。事業を継続して実施することで着実に実績を作っていくとともに、市との協働による事業の進め方について学ぶ必要がある。	先輩ママの話を知りたいという声から参加者よりあったことから、団体メンバーが講師となり事業を実施する等、参加者のニーズを踏まえて事業の目的やターゲットを明確に設定するとともに、対象に応じて託児や内容を変更するなど、検討する必要がある。	参加者ニーズの把握に努めるとともに、関連する他団体とのネットワークを構築し、連携を図りながら事業を実施することで、更なる広がりが期待できる。	事業を点で終わらせるのではなく、内容や規模を見直しながら継続して実施し、団体としての実績を作っていくことで、より効果的な事業となることが期待できる。	事業の目的や対象を明確に設定したうえで、市担当課や他団体との連携を図り、参加者のニーズに沿った事業となるよう工夫をする必要がある。	
10	事業	大型総合イベント「超高齢社会の街づくりフェスタ2015」	NPO法人臨床研修支援協議会 高齢者支援課	A	福祉分野における市内の多様な専門職を含めた「複数の主体による協働事業」にも関わらず、十分なコミュニケーションのもと、それぞれの特性や長所を生かした効果的な役割分担に基づいた事業展開ができていく。	幅広い世代が参加できるよう綿密な仕掛けがなされており、各事業とも参加者数も多く、非常に成果のあった事業であると評価できる。	市内の多様な専門職が事業に携わることで、福祉分野における市及び関連団体とのネットワークを構築することができ、当該事業で生まれた繋がりを活用することで、更なる協働の広がりが期待できる。	会場使用料を精査し、費用負担を軽減できるよう工夫をすることで、更に継続性の高い事業となることが期待できる。	複数の主体が関わる大規模な事業にも関わらず、適切かつ効果的な役割分担に基づき事業を実施し、多数の参加者やネットワークの構築という成果を挙げており、協働事業として優れていると評価できる。	

※ 評価結果の定義

- A：協働事業として適切で優れていると評価できる。
- B：協働事業として適切であるが、一部改善することで、更なる発展が期待できる。
- C：協働事業として概ね適切であるが、一部改善の必要がある。
- D：協働事業として取り組むにはかなりの改善が必要である。
- E：協働事業としては不十分であった。